

新内陸污水处理場放流水等放射性物質濃度測定結果（平成27年3月）

採取日		放流水		浸出水		脱水汚泥	
		放射性セシウム (¹³⁴ Cs)	放射性セシウム (¹³⁷ Cs)	放射性セシウム (¹³⁴ Cs)	放射性セシウム (¹³⁷ Cs)	放射性セシウム (¹³⁴ Cs)	放射性セシウム (¹³⁷ Cs)
3月2日	測定結果	不検出	不検出	不検出	49.6	不検出	39.4
	検出下限値	<17.9	<14.1	<15.4	<15.2	<17.0	<14.7
3月17日	測定結果	—		不検出	37.7	不検出	33.6
	検出下限値	—		<16.7	<15.2	<16.8	<15.6

※測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメリーによる核種分析法（文部科学省放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリー」（平成4年8月）に準拠）

※「不検出」とは、本分析における放射性物質濃度の検出下限値を超えないことを意味する。

※単位 放流水・浸出水：Bq/L、脱水汚泥：Bq/kg

※処分場内の浸出水（埋立場内の浄化前汚水）から、セシウムが検出されておりますが、ゼオライトを污水处理施設に投入することにより、安全にセシウムを除去しております。